

## 中部大学幸友会

### 入会手続き

中部大学幸友会ウェブサイトの「各種手続き・事務局への問い合わせ」をクリックし「入会申込フォーム」に必要事項をご入力のうえ、ご送信ください。  
なお「入会金」および「年会費」を下記のとおりご納入くださいますようお願いいたします。

<b>法人会員</b>	入会金 … 10,000円 年会費 … 20,000円 ご納入金額 … 30,000円
<b>個人会員</b>	入会金 … 3,000円 年会費 … 3,000円 ご納入金額 … 6,000円

### 振込口座

三菱UFJ銀行 春日井支店 普通 1664245  
十六銀行 春日井支店 普通 1302908  
東春信用金庫 坂下支店 普通 601768

口座名義 中部大学幸友会



【縁尋機妙】いい縁がさらにいい縁を尋ねて、その広がりゆくさまが機妙

表紙に引用した言葉 【多逢聖因】いい人と交わっていると、いつの間にか、いい結果に恵まれる

【勝 縁】勝れた縁(安岡正篤)

### 中部大学幸友会事務局

〒487-8501 春日井市松本町1200番地 中部大学内  
TEL 0568-51-4740 [直通] FAX 0568-51-1186  
中部大学幸友会ウェブサイト 「中部大学幸友会」にてご検索ください  
<https://www.chubu.ac.jp/business-industry/koyukai/>  
E-mail: kouyukai@office.chubu.ac.jp

### 学校法人中部大学

- 中部大学
- 中部大学第一高等学校
- 中部大学春日丘高等学校
- 中部大学春日丘中学校

### 幸友会の「幸友」は、

学校法人中部大学の創立者・三浦幸平の「幸」を引用した造語。

「縁尋機妙・多逢聖因」、「勝縁」

縁とは不思議なもので、幸友は、探しても見つからない。

自分の行動に、幸友は近づいてくる。

始まりは…幸友会

# 企業戦略の有力な手段 中部大学幸友会は、その窓口です

中部大学幸友会は、産官学協同の推進を目的に地元の経済界、産業界の皆様のご賛同をいただき、1989年に設立いたしました。以来35年を超える時を刻み、会員企業様の理解あるご支援のおかげで会員数が倍増し、企業、地域をつなぐパイプラインとしてゆるぎない存在となっています。

独自の技術力で世界へ飛躍する中小企業も少なくありませんが、ビジネスとなると企業内ブレーンだけでは解決不可能なこともあるかと存じます。産官学の広域の連携が必要な時、幸友会事務局にいつでもお気軽にお問い合わせください。

## 幸友会のメリットと活動

### 「人材」獲得にプライオリティー

人口減少社会を迎える「人材」獲得は企業の生命線です。幸友会会員企業と学校法人中部大学との幅広い情報交換から築きあがれた信頼関係が、人材募集の力となっています。毎年多くの学生・生徒が幸友会の会員企業へ就職しております。



▲学内業界研究会  
学生の約3割が就職のきっかけをつかむイベント。  
幸友会の会員企業も多数参加いただいています。



◆中部大学幸友会  
総会・講演会・交流会  
教職員も多数参加いたします。  
交流会も設けておりますので、  
気軽にご参加ください。

▼幸友会企業ガイド&幸友ナビ  
中部大学幸友会企業だけの採用情報を掲載した企業ガイドは、例年3月に就職活動を開始する学生に配布し、幸友ナビによってインターネットでも閲覧できます。



▲就職担当教員との交流会



### 「知財」産・官・学の協働体制

中部大学は、工学部、応用生物学部、生命健康科学部、理工学部の理数系と、経営情報学部、国際関係学部、人文学部、現代教育学部の文系を擁する総合大学。膨大な「知財」の宝庫であり、幸友会の法人会員との産官学連携が、積極的に行われています。



◆中部大学フェア  
「産官学連携・一人づくり・モノづくり・  
コトづくり・夢づくり」をテーマに、  
中部大学の研究内容を紹介します。



### 「育財」豊かな教養・文化を育てる

学校法人中部大学は、音楽イベント、講演会などを通して地域社会や企業とのネットワークを育て、後援しています。



▲キャンパスコンサート  
様々なジャンルのアーティストをお招きして、中部大学内の  
三浦幸平メモリアルホールで開催します。



▲中部大学音楽祭  
中部大学の音楽クラブが、年末の恒例行事として  
演奏会を開催。毎年多数のお客さまが来場します。



▲各界著名をお招きしての講演会など、  
大学ならではの知識と教養に触れあう機会  
を数多く企画し、幸友会メンバーの皆様へご  
案内しております。



#### 幸友会総会でご講演いただいた方々(抜粋)

講演会は、幸友会総会の年次催事として著名な方々を招聘しております

- 張 富士夫 (トヨタ自動車㈱ 取締役会長)  
「公器～会社は何のためにあるのか～」
- 安藤 忠雄 (建築家)  
「後世に残すべきもの  
～次なる50年に向かって～」
- 三枝 成彰 (作曲家)  
「西洋音楽はなぜグローバル  
スタンダードになったのか？」
- 金 美齡 (評論家)  
「アウトサイダーから見た日本」
- 福和 伸夫 (名古屋大学名誉教授、  
あいち・なごや強制化共創センター長)  
「温故知新と転換が福で中部の未来を拓く」
- 野田 静真 (株セブン-イレブン・ジャパン  
取締役副社長 営業本部長)  
「日常を変革する～単品管理思考とイノベーション」

※講師の役職・職業等は講演会開催当時のもの(敬称略)